

<p>企画名</p>	<p>緑のカーテンを作ろう</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市消費者の会 問合せ先 和田三千代 TEL: 04-7183-1434 Email: mywada_1206@ae.auone-net.jp ホームページ: http://www.abikoshi-syouhisyanokai.net/</p>	
<p>目的</p>	<p>地域の環境を考える上で地球温暖化を防ぐための個々の取り組みが重要であり、緑のカーテンに取り組むこともその一つである。3.11 以降原発に頼らない生活が求められている中、ますます意義のある活動として広めていくことを目的として開催する。</p>	
<p>日時・場所</p>	<p>2013年5月18日(土)15:00~17:00 我孫子市生涯学習センター(アビスタ) 工作室</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>① 手賀沼の課題と取り組み 竹中真里子(手賀沼流域フォーラム事務局) ② 緑のカーテン 基礎編 加藤マリ子(我孫子市消費者の会) ③ 緑のカーテン 達人編・相談コーナー 中村公陽さん(ゴーヤ作り名人) 20年近く同じ場所で毎年立派なゴーヤのカーテンを作っている大ベテランにたくさんの相談が寄せられました。水やり、肥料、摘心の3つは基本ですが、「一番のコツは毎朝、よく見ること」だそうです。 ○緑のカーテン写真コンテストのお知らせ 深山恒男さん ●終了・苗の配布</p>	
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>講座参加者 36名、苗と資料の受け取り 48名 講師1名、スタッフ7名 緑のカーテンコンテスト宣伝 1名 総計 92名</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>手賀沼流域フォーラム事務局から、「手賀沼の生物多様性が回復せず、ワースト2になったことを報告、ひとりひとりが水を汚さない暮らしをすることの大切さを訴えました。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>上手くできないという方も多く、基礎編では、摘心を行い、脇芽を増やしていくことを伝えました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>今年もゴーヤの育苗を「手賀沼トラスト」に依頼しました。昨年以上にしっかりした苗で、受け取った方々から「愛情込めて育てたということがよく分かる」と嬉しい評価をもらいました。</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div>		
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>定員を超える申し込みがあり、講座を受けることができなかった方々には、受付で育て方の資料とゴーヤの苗の配布を行いました。申し込み者は、全くの初心者の方、挑戦してみたがうまくいかなかった方、何年も取り組んでいて自分のコツを紹介したい方など様々でした。緑のカーテンが広がってきていることを実感しました。</p>	

<p>企画名</p>	<p>かかし祭り</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 國方幸生(事務局) TEL: 04-7184-3385 メール: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp/</p>	
<p>目的</p>	<p>かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。</p>	
<p>日時・場所</p>	<p>①□ 2013年7月14日(土) 9:00~12:00 ②□ 2013年8月24日(土) 9:00~12:00</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>① かかしを作ろう ② かかし祭り ・かかしコンテスト ・スイカ割り ・昔遊び(割り箸でゴム鉄砲を作ろう) ・虫とりと生物観察(冬水田んぼの生態系を学ぶ) ・かき氷</p>	
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>手賀沼周辺市民(我孫子市・柏市) 親子、会員 ①40名 ②79名</p>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>7月14日に作成したかかしを含め28体のかかしが田んぼに並ぶ中、かかし祭りが盛大に行われた。今年では15周年事業の一環として例年よりもイベント内容を増やし、かかしの人気投票(コンテスト)、生物観察、昔遊び、スイカ割り、かき氷など様々な趣向で盛り上がった。</p>	

<p>企画名</p>	<p>手賀沼の生き物にもやさしい生活を - せっけんでやさしさアップ -</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先 商工観光課消費指導担当 TEL: 04-7185-1469 FAX: 04-7182-8080</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼の水質悪化の大きな原因は、家庭排水とりわけ合成洗剤の多用でした。それに気がついた市民(団体)からの請求によって、我孫子市は全国で唯一石けん利用に関する条例を持っています。下水道の整備が進んだ今も、生活排水は水環境に大きな影響を及ぼしています。ひとりひとりが自らの使う(流す)水について考える機会とします。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2013年7月28日(日)10:00~12:00 アビスタ工作室</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合成洗剤とせっけんはどちらがうの？ ・ ハミガキ実験で、せっけんと合成洗剤の違いを体験しよう。 ・ パワーポイント「手賀沼のよごれ・生きものの状況とせっけん」で、生きものとせっけんのつながりを説明。 ・ 「ガシャモク」の育成実験、合成洗剤の影響を見る。 ・ DVD鑑賞：ミドリゾウリムシへの合成洗剤の影響、魚「アジ」への合成洗剤の影響を見る。 ・ 毎日どのようにお皿を洗っていますか？(よごれのふきとりで排水をきれいに行けることを知る) ・ ブラックボックスで合成洗剤の蛍光増白剤を見よう。
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>対象:小学生親子 32人、取材高校生と先生4人、スタッフ7人</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ハミガキ実験では味の変化にびっくり!</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>家ではどんなふうに洗っているかな?</p> <p>そのまま洗うとこんなによごれてしまうね</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>合成洗剤の影響で水草が枯れた!</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニコミ紙に掲載されたことで柏市や松戸市からも参加がありました。専修大学松戸高校放送部の学生たちが取材しながらいっしょに体験等に参加し、「合成洗剤とせっけんは、こんなに違うものなんですね」と感想を言っていました。 ・ 今は手賀沼の水質が悪いので、自然の循環(生物多様性)による浄化ができないこと、生きものを大切にするためにせっけんを使うこと、自分が流す水に気をつけることの意義を伝えることができたと思います。

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼親子体験ヨット乗船会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先 須藤 敏通 TEL: 04-7132-6415 Email: redhog_104@nifty.com ホームページ: http://www.geocities.co.jp/Athlete-Sparta/2767/</p>
<p>目的</p>	<p>セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングに必要なロープワークや初歩の帆走技術を習得する。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2013年9月28日(土) 手賀沼の手賀沼漁協棧橋</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>8:00 帆走指導者、運営役員集合。漁協棧橋にてシカーラ2艇の準備・曳航。 アクセスディンギー2艇を手賀沼公園から小池棧橋に陸路搬入。 9:00 午前の部参加者集合・島村理事より乗艇の心得について説明。 9:30 アクセスディンギー2艇、シカーラ2艇を使用し各自平均して15分間の体験を行った。 約15分の待ち時間の間、大西副理事長を中心に、手分けして船体各部の名称、基礎的なロープワーク、帆走原理等を説明。 12:00 午前の部終了。午後の部集合・体験乗船会開始。 14:30 午前の部と同じサイクルを繰り返し終了。参加者は各回終了時随時解散。 17:00 艇の艀装解除、装備品の整理、棧橋より艇の搬出、クラブ員全員解散。</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>親子参加: 午前 41名、午後 39名。クラブより指導者・運営役員計 19名</p>

ロープワークってむずかしいネ
おとうさん!

2013/09/28 10:00

親子で初体験!
絆が深まりました

家族揃って楽しい
体験となりました

<p>参加者や 実施団体の 感想</p>	<p>台風接近により前日まで開始が危ぶまれた。しかしながら当日は、台風も早目に去って『台風一過』の好天、風速2~4m/sの良好な風に恵まれた。その結果、参加者の大半がヨットの醍醐味を子供たちは勿論、父兄の方々にも十分味わってもらえた。</p>
------------------------------	---

企画名	手賀沼親子自然観察会 – 手賀沼用水路で魚とり！
実施団体	団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 松本 勝英 TEL&FAX: 04-7187-1704 ホームページ: http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の魚を知ろう
日時・場所	2013年9月29日(日)10:00~12:00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと
プログラム・概要・ルート等	鈴木代表から本日の予定、柴田佳秀さんの話(手賀沼の魚について) モンドリ仕掛け、タモ網で魚採り 釣りのやり方について説明(柴田佳秀さん)を聴き、釣りで魚採り 左村さんの話『手賀沼周辺で見られる草花』 モンドリ引き揚げ、魚の分類、まとめ
参加対象 参加人数	小学生以下は親子参加。一般参加は68名、スタッフは13名、合計81名



この楽しいモニターも多い



柴田講師による判りやすい「釣りの基本」のレクチャー



24組の親子が参加しました



「種の見分け方」「国内外来種・国外外来種はなぜ手賀沼にいるのかな」

【観察された水生生物】

在来種: モツゴ、メダカ、ギンブナ、コイ、ドジョウ、スジエビ

ヤゴ(ヤンマ科、トンボ科アカネ属・シオカラトンボ属、イトトンボ科)、ミズカマキリ、アメンボ、ケシカタビロアメンボ、ゴマフガムシ、セマルガムシ、コガシラミズムシ、トウキョウダルガガエル、アマガエル

国内外来種: タモロコ、ツチフキ

国外外来種: カダヤシ(この水路では初確認)、タイリクバラタナゴ、カムルチー、タウナギ、シナヌマエビ、アメリカザリガニ

参加者や実施団体の感想

- ・ 外来種「ブラックバス、ブルーギルの幼魚」は昨年に続き採れなかった。しかし、タウナギの幼体は昨年に続き採れ、さらに、この用水路で初めてカダヤシを確認した。今後の増殖が懸念される。トンボのヤゴはたくさん採れた。
- ・ 200名に及ぶ参加申し込みがあり、次年度に向けて対応を検討していきたい。

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">川めぐりと木下の史跡散歩</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子の文化を守る会 問合せ先 齊藤 清一 TEL: 04-7183-9815 Email: sssaitou@hotmail.co.jp</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼の現況を船から視察、排水機場の役割を学ぶ、木下市内の史跡探訪</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2013年9月29日(日) 11:45~15:00 集合: 印西中央公民館</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>印西中央公民館にて参加者に本日の目的を説明。 【川めぐり】渡船場から1艘10名ずつ2艘に乗船 印西ふるさと案内人協会の説明で出航。 弁天川⇒手賀川⇒六軒川めぐり 【手賀排水機場見学】 建設された目的と役割について説明を受けた 【木下の史跡探訪】 印西ふるさと案内人協会の協力により、いにしへの印西、江戸時代の印西の説明を受けながらの史跡探訪 ルート: 手賀沼排水機場⇒利根川堤⇒木下河岸⇒吉岡家界限⇒山根山不動尊⇒木下駅</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>我孫子市民 20名</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="164 958 778 1350">  <p style="text-align: center;">渡船場で参加者記念写真</p> </div> <div data-bbox="798 958 1412 1350">  <p style="text-align: center;">船上からの視察</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="164 1400 778 1787">  <p>こぶ白鳥の群れ、突然大きな草魚が半身程も飛び上がる</p> </div> <div data-bbox="798 1400 1412 1787">  <p>“驚愕” この「石灯籠」全て貝殻で造られている</p> </div> </div>	
<p>参加者や 実施団体の 感想</p>	<p>【参加者の感想】 手賀沼を大事にしなければならない。 美しい手賀沼にしなければ、住民の財産だ！ 自然がいっぱいの中に居住していることを再確認できた。 大雨対策も考慮していることを知った。(排水機場見学で)。 今日の探訪に充実感で一杯。</p> <p>【スタッフの感想】 参加者募集開始2時間で20名に達した。今後の対策を考えたい。 安全対策を心がけ、全員無事で安心した。</p>

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼の歴史景観をみよう</p>					
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子の景観を育てる会 問合せ先 佐々木哲明（総務担当） TEL&FAX.: 04-7184-3866 メール: abbysasaki@yahoo.co.jp ホームページ: http://www.geocities.jp/abikokeikan/</p>					
<p>目的</p>	<p>手賀沼の船上から我孫子の丘を眺め、その歴史と景観を楽しむ。</p>					
<p>日時・場所</p>	<p>2013年10月6日(日) 9:00～12:00 チャーターした遊覧船で手賀沼をほぼ一周</p>					
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>【プログラム】 ①船上から我孫子の丘を眺め、我孫子半島の成り立ち、古墳の分布、時代の変遷と我孫子に暮らしたゆかりの人々の紹介。 ②手賀沼の今昔、環境問題と汚濁の改善活動(関連資料配付)。 ③手賀沼の生物の姿を知る(沼上のミサゴを観察)。 【ルート】 手賀沼公園⇒大堀川河口付近⇒フィッシングセンター(曙橋)で下船⇒柏市沼南側散策後に再乗船⇒手賀沼公園(解散)</p>					
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>どなたでも。一般参加は13名、運営スタッフは6名、合計19名</p>					
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;"> <p>船内での説明</p>  </td> <td style="text-align: center; width: 50%;"> <p>沼上のミサゴ</p>  </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <p>フィッシングセンター(曙橋)で下船</p>  </td> <td style="text-align: center;"> <p>手賀沼浄化事業についての説明を受ける</p>  </td> </tr> </table>			<p>船内での説明</p> 	<p>沼上のミサゴ</p> 	<p>フィッシングセンター(曙橋)で下船</p> 	<p>手賀沼浄化事業についての説明を受ける</p> 
<p>船内での説明</p> 	<p>沼上のミサゴ</p> 					
<p>フィッシングセンター(曙橋)で下船</p> 	<p>手賀沼浄化事業についての説明を受ける</p> 					
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>(参加者の感想) 初めて手賀沼の船上散歩を楽しむことができ、よかった。我孫子や手賀沼のことを詳しく説明していただき、大変勉強になった。 (実施団体の感想) 雨天順延での開催になったため、参加者が少なく残念でしたが、珍しいミサゴの姿を観察できたのは、望外の喜びでした。今後はイベントの告知方法も再検討してみたい。</p>					

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">「手賀沼賞 エコ・こども教室」</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 我孫子市手賀沼課 TEL: 04-7185-1111(内線 468)</p>
<p>目的</p>	<p>我孫子市の小・中学校の生徒を対象に教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」のなかから選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 子供たちに発表機会を設けると共に、多くの人に作品の成果を広める。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2013年10月20日(日) 9:00～15:00 アビスタ</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>■ 口頭発表会 ・我孫子市の小・中学校の生徒を対象に教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」のなかから選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 ・子供たちに発表機会を設けると共に、多くの人に作品の成果を広める。 ■ 手賀沼賞クイズ大会 ・発表作品を題材にしたクイズ大会。作品の内容を理解して貰うクイズを出題し、成績において特製野鳥カード又は野鳥ぬり絵をプレゼント。</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>口頭発表会 参加者 48名、スタッフ 10名、計 58名 クイズ大会 参加者 クイズ回答者こども 242名、大人 121名、スタッフ 9名、計 372名。</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口頭発表会作品に選ばれたことは、学校・保護者・生徒及び児童にとって大変名誉なことであり、学校、保護者の熱の入れ方が感じられた。 ・ 解説パネルを1年間学内に掲示する小学校や未発表受賞者の賞状を全校集会で伝達する小学校もある。 ・ クイズ大会は野鳥カード、塗り絵セットが好評でクイズに引き付けることが有効であった。 ・ 科学作品展の対外発表の場が少なく口頭発表の場が設けたことに感謝された。今後も続けたい。

<p>企画名</p>	<p>森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 船戸の森の会 問合せ先 七尾 忠 TEL: 04-7184-5866 Email: nanao@k2.dion.ne.jp</p>
<p>目的</p>	<p>船戸の森を通して、地域の子供と大人と一緒に、自然に親しみ、自然を大事にすることを体験するとともに、家族のコミュニケーションを深める。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2013年11月10日(日) 10:00~13:00 船戸の森、手賀沼ファーム</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>①船戸の森の自然観察と森の整備(枯れ枝集め、枯れ枝の整理) ②枯れ枝をリヤカーに積んで手賀沼ファームまでみんなで運ぶ。 ③みんなで並んでサツマイモほりをする。 ④焚き火を囲んで、食パンやマシュマロを焼いて食べる。</p> 
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>地域の子供と大人 75名(船戸の森の会会員を含む)</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>船戸の森のあずまやに集合</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>枯れ枝を集めて、森をきれいに。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ドキドキ!ちゃんと掘れるかな。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>煙はかったけど ワイ！焚き火だ！ パン・マシュマロおいしかった。</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・枯れ枝集めやリヤカーでの運搬など、普段できないことができて楽しいひと時でした。 ・サツマイモを掘り出すときに、傷つけないかと緊張しました。 ・焚き火で焼いた食パンやマシュマロがとてもおいしくてびっくりしました。 ・風は強かったが、心配された雨は降らずに、無事終了できてホッとしました。 ・子供たちだけでなく、大人も楽しそうにしている姿を見て、行事の成功を実感できました。

企画名	手賀沼親子ふれあい探鳥会
実施団体	団体名 我孫子野鳥を守る会 問合せ先 野口 隆也 TEL: 04-7163-7898 ホームページ: http://www.abikoyacho.org/
目的	野鳥観察を通して、楽しみながら私達の住んでいる自然環境を観察する眼を養う。
日時・場所	2013年11月24日(日)9:30~12:20 手賀の丘公園~手賀沼
プログラム・概要・ルート等	①野鳥観察 手賀の丘公園~手賀沼~手賀の丘公園を探鳥。 この間、我孫子野鳥を守る会会員が野鳥を見つけスコープに入れて解説。 ②野鳥ビンゴゲームを実施…野鳥観察の楽しさをゲームで加速させる。 終了後、完成した出来たビンゴの数に合わせ特製野鳥カードと野鳥塗り絵セットをプレゼント（野鳥観察に熱が入った）。
参加対象 参加人数	一般参加者 23 名（内子供 5 名）、スタッフ 4 名、合計 27 名



出発前の風景 どんな鳥に出会えるか期待がいっぱいです。



ふれあい緑道での観察風景 17 種の水鳥に出会いました。



野鳥カードの選択風景
 どれにしようか迷っています。



染入落の堤防沿いの移動風景
 途中、ヒバリやタヒバリが歓迎してくれました。

参加者や 実施団体の 感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好天に恵まれ絶好の探鳥会日和で 40 種の野鳥と 1 種の外来種を観察。 ・ 沢山の野鳥の種類に出会え、ノスリとカラスの空中バトルが見られ、参加者からは楽しかった、良かったとの声が数多く聞かれた。 ・ 今年もビンゴゲームと野鳥カード及び野鳥塗り絵セットプレゼントは、参加者に大好評であった。
---------------------	---